



そんたく ふかん 忖度と俯瞰的と

理由話せない 学術会議への任命拒否

安倍政権で「忖度」「そんたく」を教えてくださいました。新聞記事にルビがなくても読めるように、ようくなりました。ら、今度の菅政権では「俯瞰的」「ふかんてき」、もっと難しい言葉です。日常会話ではそんなに使わないのでは。

「俯瞰」を広辞苑で引くと、「高い所から見下ろすこと。全体を上から見ること。鳥瞰。」とあります。「鳥瞰図」という図があります。中世の町並みなどを空を跳んでいる鳥の目から見て「こんな風に見えるのではないか」と描かれた絵図です。学術会議が推薦した候補のうち6人の学者を、首相が任命しなかった理由は、「総合的、俯瞰的な活動を求める観点から判断をした」と説明されているが? 国会質問が進むと、「推薦段階の名簿は、私（首相）は見えていない」（岐阜新聞・現論24日）「功績は知らない」さらには、「候補は、旧帝国大学出身ばかり」発言には「私学もいます」と野党に反論され、支離滅裂と報道が。「理解出来ない話しには、裏があって、裏の説明聞けば『なるほど』となるが、『それが、話せない』のでは」と、「忖度が必要」と市民に「説明」されてしまった。先の戦争の反省から出来た日本学術会議を大切にしたいと思います。

基礎資料なき長良小プール民営化の提案?

長良小学校のプールの民営化が9月議会で提案された時、「民間プールを利用している都市が〇〇もあります」と説明がありました。

そこで、以下の資料請求を市議会事務局を通じて10月30日に市教育委員会にしました。①中核市別の小中学校数 ②中核市別の設備されているプール数 ③中核市別のプールが設備されていない学校数 ④中核市別の民間プール利用している学校数・児童学生数 ⑤民間プール利用に必要な予算 ①～⑤を一覧表で見える事の出来る資料。

が、①～③は、資料がありますが、④と⑤の資料はありません。民間利用している学校の実数も、民間委託予算も基礎資料がないまま、9月議会で「当初予算の建設費を削減」し、「かわりに民間プール利用を提案」していた事が判明。資料請求の×切を11月13日としましたら『間に合いません』と言われてしまいました。9月議会で『建設予算削減提案』だけは「行っている」ではないか? と思うのですが。提案は否決されたが、9月議会で民間プール利用に対する「コロナ対策」準備の説明は無かった。

市民請願受け 給食費無償といじめ対策 動議提案

- 大阪市は2021年開始予定の市立小中学校の給食費の無償化(約70億円)を新型コロナウイルス感染拡大受け、子育て負担軽減のために政令市はじめて本年4月に前倒し実施(家計負担年4万5千~5万円軽減)。
- 県内12自治体も何らかの軽減策あり。岐阜市民の「給食費無償化」請願もあり、**松原のりかず**が「動議提案」したが、少数否決。「子どもファースト標榜する岐阜市、まだ半歩も歩んでいない」「全国の先進子育て政策に遅れる」柴橋市政を問う。
- 市教育委員会の**いじめ対策**は。市教委・学校を通じず、市長へ直接いじめ通報できる弁護士会と協力した「**学校・子どもの人権相談窓口**」創設を提案。市長提案の緊張感なき制度は「いじめ対策監」の形骸化生み、退職校長等の再就職場づくりで終わると危惧。

格差社会
ストップ

2020. 3月議会

声

家庭と結ぶ
市政報告
106号



岐阜市議会議員

松原
のりかず

- 新型コロナウイルス感染拡大を理由に、戦没者追悼式の中止通知した当日、市長が市幹部管理職300人余の懇親会ホテルで開催。戦没者・遺族への配慮、感染対策危機管理、ともに不適切と指摘。

- 自宅/岐阜市沖ノ橋町1丁目21番地 松原のりかず/TEL 058(253)2500
- 市政報告を議会毎に発行しております。不都合・住所変更等がありましたらお知らせ下さい。市政調査活動へのご協力をお願い申し上げます。
- 松原は2人おりますのでお間違いないようお願い申し上げます。

本郷けやき清掃大作戦!

主催 本郷まちづくり協議会

第3回クリーン運動 (雨天中止)

8:00~けやき通り清掃 (集合・赤口神社前)

- ① 11月22日(日) 基盤整備部
- ② 11月29日(日) 都市建設部・ロータリーク
- ③ 12月6日(日)
- ④ 12月13日(日) 環境部、健康部
- ⑤ 12月20日(日) 市緑化推進研究会

(市各職場からのご協力、ありがとうございます。)

緑の都市賞プレート除幕式

11月29日(日) 9:00~9:15

けやき通り・ほんごう幼稚園前

(雨天中止の時は、12月6日に延期)

免疫力アップ! 健康増進体操 (雨天中止)

11月29日(日) 9:30~10:00 明郷小学校グラウンド

耳痛い3月議会質問 教訓活かす姿勢を

上記は、本年3月議会後の松原のりかず市政報告です。●の4個目は、コロナ対策の質問の一部です。昨年の台湾の迅速対応を学ばなければならぬし、年末年始の武漢の感染状況を知るなら、管理職300人懇親会の反省を忘れる事は出来ない。

アメリカ大統領選挙とコロナ対策は関連大で報道されているが、年明け市保健所職員が「アメリカで大流行しているインフルエンザは、本当にただのインフルか疑問」と見解を述べていた。現場職員の経験は大事だ。

岐阜県知事の指導性は、東海3県と国を動かし、岐阜市との連携も機能している。愛知県知事は「第3派」警戒を発言されている。岐阜市も、いま、そこにある危機である。経済も「資本の地産地消」はコロナ以前から指摘だが、意味合いが増したと言える。



松原のりかず
☎058-253-2500